

-古河公方公園- 公園だより



ハナモモ(ヤグチ)

2023年3月号

【発行】

(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■市民協働企画 ススキの株分け作業 2/18

2月18日(土)市民協働でススキの株分け作業を行いました。今回株分けしたのは、公園の南側にある「ススキの小径」沿いに植栽してあるススキの一部です。ススキの株分けの時期はススキの休眠期(2月~3月)に行い、3~5年おきに一回株分けをすることで、株を増やすことができます。植えてから20年くらい経つものもあるので、掘り起こしたものを分けるときに、まるで岩のように固いものもありました。剣先スコップのほか、鍬(クワ)やオノ、ハンマーなどを用いてカチカチに固まったススキを株分けしました。ご参加いただいた市民のみなさん、ありがとうございました。



■冬の植物観察会 2/25

2月25日(土)、もりもりクラブの川田いつ子さんを講師に迎え、冬の植物観察会を実施いたしました。カンヒザクラ、シダレザクラのつぼみや、コブシやコリヤナギなどの毛皮に覆われたつぼみなど、冬を乗り切り春を待つ、植物たちのたくましい姿と春の息吹を観察しました。

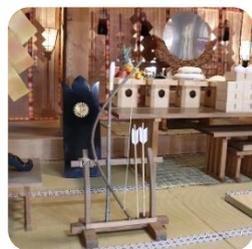


オニグルミの葉痕



年越祭で使用される公園の桃の枝

2月10日、11日に、筑波山神社で年越祭が行われ、その中で、古河公方公園の花桃の枝で作られた弓が使われました。桃の枝には邪を払う力があるといわれます。公方公園には花桃の木がたくさん植えられているので、古河公方公園はある意味邪を払うパワーが満ちているかもしれませんね。



■第85回古河公方公園づくり円卓会議 2/16



2月16日(木)、スペースU古河で、第85回古河公方公園づくり円卓会議を実施しました。「目洗弁天池周辺のヒガンバナ植栽」について議決され、今後、市民協働でヒガンバナの株分け、植栽を行う予定です。また、ヒガンバナ以外にも、徳源院参道や、御所沼の水深の確保や植生護岸など、活発な議論が行われました。

ハナモモの樹勢回復について

現在、土壌の栄養不足などにより、経年的な樹勢衰退が進行している恐れがあり、ハナモモの樹勢を回復させるため、樹木医さんに協力してもらい、一部の花桃に対して試験的に施肥を行いました。元気な花が咲くといいですね!



新しいブランコを設置

遊具広場に新しいブランコが設置されました! 小さなお子様でも遊べる幼児用のチェアシート型のブランコです。是非遊んでみてくださいね!



第47回古河桃まつりについて

●古河桃まつりに関係する詳細は、古河市観光協会HP「こがナビ」をご覧ください。か、主催者「古河市観光協会/0280-23-1266」までお問い合わせください。



◀イベント情報については、古河市観光協会HP「こがナビ」桃まつり」ページからご確認ください。こちらの二次元コードを読み取り、お使いください。

◎花桃の開花状況は、公園HPにて随時更新中です。こちらからどうぞ▶



○公園だよりは公式HPからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

